

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第58号 》 (2018年度)

第31回記念館小企画展から
大洲城 (愛媛県大洲市)

シリーズ
よえもん



「論語」里仁第四

書 渕田瑞穂さん

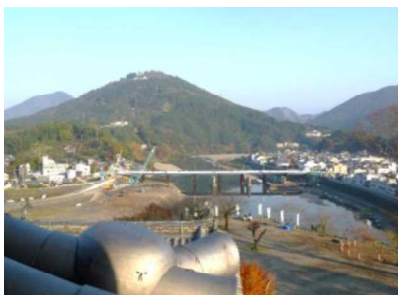
約を以て
之を失う者は
鮮し

大洲城は、鎌倉時代の末期(1331年)、伊予の国の宇都宮豊房が築いた地蔵ヶ岳城が始まりとされています。元和3年(1617年)、米子から加藤貞泰が入城しました。以後、明治維新を迎えるまで加藤家が6万石の城主として、この地を治めました。

明治21年(1888年)、惜しくも4層4階の天守が取り壊されてしまいましたが、平成16年(2004年)に木造で復元されました。



大洲城



大洲城からみた肱川



加藤家の甲冑



お城作りのジオラマ

「何事にも節度を心がけていれば、失敗することは少ない」という意味です。

人はややもすると、できる見通しもなく理想を掲げ、大げさで自立つことを言ってしまうがちですが、控えめで慎重であることの大切さを教えています。

また、このことは、経済的にも言えることで、無駄を省いて切り詰めることの大切さを教えています。先を甘く考え、欲望のまま出費や浪費を行い、気が付いたときには大変な事になっていたということがないように気を付けたいものです。

* 記念館だより *

中江藤樹記念館では、10月13日、27日、11月10日、12月1日、12月8日の計5回、市内に在住または通勤・通学の高校生以上の方を対象に、「論語」入門講座を開催しています。現在、15名の方にご参加いただき、論語の読みや意味を楽しく学ぶ中で、時代を超えて私たちの生き方を深く考えさせられる論語の素晴らしい魅力を感じていただいています。2回目以降からの申し込みも可能です。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。詳しくは記念館までお問い合わせください。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

